

打出
芦屋
平成22年度 第2回 芦屋市 財産区共有財産管理委員会 会議録

日 時	平成23年1月19日(水) 午前10時～11時15分
場 所	芦屋市役所 北館2階 会議室3
出席委員	細谷昌巳委員長, 中村修一副委員長, 朝比奈皓委員, 極楽地太一委員, 坂口忠之委員, 天王寺谷昭博委員, 天王寺谷充康委員, 灘本康夫委員, 山本昭美委員, 松本忠彦委員, 助野勇委員, 馬場光平委員, 樋口勝紀委員, 山村孝司委員, 山村太良委員
欠席委員	なし
市 側	山中市長
事務局	松本総務部長, 中山管財・検査課長, 礼場土地・検査担当課長
会議の公開	公開
傍聴者数	なし

1 会議次第

- (1) 樋口委員委嘱状交付
- (2) 委員長挨拶
山中市長挨拶
- (3) 議題
 - ア. 砂防施設用地の譲渡について(諮問)
 - イ. 県道奥山精道線道路敷地の貸付けについて
 - ウ. 治山事業の実施について
 - エ. 平成23年度予算案について

2 配布資料

- レジュメ
- 資料1 砂防施設用地の譲渡関係資料
 - 資料2 県道奥山精道線道路敷地貸付関係資料
 - 資料3 治山事業実施関連資料
 - 資料4 平成23年度予算案関連資料

3 審議経過

細 谷 委 員 長 ただ今から, 芦屋市打出芦屋財産区共有財産管理委員会を開催いたします。開会に先立ちましてご挨拶申し上げます。
- 細谷委員長 ご挨拶 -

事 務 局 財産区管理者であります山中市長からご挨拶申し上げます。
松 本 部 長
山 中 市 長 - 山中市長 挨拶 -

細 谷 委 員 長 本日は委員15名中15名の出席があり, 本委員会は成立しております。なお, 議事録署名委員は, 松本忠彦委員と阪口忠之委員にお願いします。それでは議題(1)砂防施設用地の譲渡について, 事務局の説明を求めます。

事務局 中山課長 - 所在地，地積，譲渡価格等について説明 - （別紙資料1）

細谷委員長 説明が終わりました。ご意見，ご質問がございましたらお願いします。

細谷委員長 譲渡価格の2,400円/㎡はどうやって算定されたものですか。

事務局 礼場課長 六甲砂防さんが鑑定を取られたわけですが，六甲山中の土地を標準地に設定されて，地形等による比準について価格を出し，時点修正をされて価格を出しておられます。平成19年度の黒越谷堰堤補強工事の際の処分価格が2,400円/㎡，2,600円/㎡でしたので，それから数パーセント地価が下がっている実態を見れば妥当な価格かなと考えております。

朝委 比 奈 今回，買収される他の土地の価格はどうなのですか。

事務局 礼場課長 提示されていませんが，大きく違うことは無いだろうと思います。

中山課長 南向きなどの条件によって，鑑定士さんで意見が違いますので，若干の差はあると思います。

松本委員 工事できないわけだから，認めざるを得ない。

事務局 中山課長 工事用地ではなく堆砂地となります。保安林ですので何か建てることはありませんが，今回，買収して確保しておくのが目的です。砂防事業の重要性をご理解いただきご協力をお願いしたいということです。

細谷委員長 他にご意見，ご質問のある方はおられますか。
 それでは，砂防施設用地の譲渡については，了承することといたします。
 次に（2）県道奥山精道線・道路敷地の貸付について，説明をお願いします。

事務局 中山課長 - 貸付場所の位置，面積，無償貸借の契約内容について説明 - （別紙資料2）

天王寺谷充康委員 買い取ってもらうのが一番だと思います。

事務局 中山課長 買取りは財政的にも難しいため，無償での貸付をお願いされているものです。今回，道路敷地とすることで，災害時の対応も含めて管理区分が明確になりますので，財産区にとってもメリットが大きいと考えます。

天王寺谷充康委員 民法上は通常必要費は借主の負担，非常時は所有者が負担をしなければならぬ。資料には災害時の対応について書いてありますので，貸借契約書に明記してもらいたい。また占有権の条文は書き方としておかしい。不用ではないですか。修正されるか，削除されたい。

事務局 礼場課長 今回は道路区域というかたちで道路法のみをかぶせてしまう。道路として管理する前提で作られている。

事務局 中山課長 兵庫県西宮土木事務所と調整しますので，災害時の費用負担について条文を追加すること，占用についての条文は削除なり書き方の見直しをするとの条件付きでご承認をお願いします。

細谷委員長 他にご意見、ご質問はありませんか。
それでは、貸借契約書の条文を修正するという事で、県道奥山精道線・道路敷地の貸付については、了承することといたします。
(追記) 条文訂正：平成23年1月20日兵庫県西宮土木事務所了承

次に議題の(3)治山事業の実施について、説明をお願いします。

事務局 中山課長 山村孝司委員 - 治山事業の全体構想、来年度の予定か所等、説明 - (別紙資料3)
工事はそれぞれ入札されるのでしょうか。

事務局 礼場課長 天王寺谷充康委員 聞いておりませんが、入札によって発注されると思います。
土地使用承諾の相手が神戸県民局長になっていますが、六甲治山事務所はどの部局になるのですか。

事務局 礼場課長 総まとめは本庁の治山課がされているのですが、六甲治山は実施部隊的な性格で、神戸県民局に置かれているものと思います。以前は県知事でしたが、最近県民局長というのも多いです。権限委譲されているようです。

細谷委員長 ほかにご意見・ご質問はありませんが。
それでは、治山事業の実施については了承することとします。
次に、議題(4)平成23年度予算案について説明をお願いします。

事務局 中山課長 天王寺谷充康委員 平成23年度予算案について説明 (別紙資料4)
予算計上していますが、まつたけはどうなりますか
事務局 中山課長 前回、土地を取得したらとご意見もいただきましたが、財産区で土地取得は出来ませんし、以前調査したところも事業適地としては狭く、実際には難しいと思っています。現地調査を継続するかどうかです。

細谷委員長 野外活動センター跡地に植えたマツ林からは出ないのでしょうか。

松本委員 出ないと思いますよ。事業するにしても管理が難しい。経費もかかれますし、そろそろ断念したらどうですか。

山村太良委員 昨年度は委託料の支出はありましたか。

事務局 中山課長 委託料では除草関係で山手町、朝日プラザで20万7千円ほど支出しています。鳥取大学の先生に来ていただいたのは一昨年です。

助野委員 山車の補助金について当局はどう考えていますか。30万円のままですか。県は文化財として認定している。

事務局 中山課長 助野委員 当面はこのままという意見です。
秋まつりには欠かせないものになっている。財産区ではなく市そのものが出さ消防庁舎に9億円を出す際、交換条件のように出来た助成金。将来的に上げる

- べきだと思う。
- 中村副委員長 財産区ではなく市単独で補助金を出すべきである。文化財をどう考えるか。
- 事務局 課題としお聞きして引き続き検討させていただきたい。
- 松本部長
- 細谷委員長 以前は出演料として40万円ぐらい出していた。山車の無いところもあり30万円に落ちいたと聞いた。打出でコマの修理に157万円ほどかかった際、国のほうも7年間の補助金も事業仕分けで無くなってしまった。県のほうもお願いしようと思っておりますが。
- 事務局 補助金のあり方について、行革で、引上げはしない、引下げをお願いしている
- 松本部長 ようなところもあり、ただちにこうというのは難しい。
- 天王寺谷昭博委員 秋まつりでは山車5基そろっているのが定着していると思うが、大きな修理が必要になると、寄附をもらうため地域を回らないといけない。そうすると秋まつりには参加することも出来なくなる可能性もある。たしか出演料として16万円もらっていますが、財産区の助成金はまた別の問題。
- 阪口委員 何で財産区からこの助成金が出ているのか。経費がかかるのはまつりの時だけではない。継続的に文化財を守っていくことを考えていただきたい。
- 中村副委員長 旅費を2年に1回で組んでいますが復活は考えられないのか。予算を計上しているのだから食糧費をちゃんと使えと。年に1回でも良いから新年互礼会をやったらどうですか。委員さんの親睦を図るうえで大事なことから。
- 助野委員 基本的に財産区のあり方に対する市の考え方がおかしい。市税でやっているのではなく、先祖代々の財産のあがりややっているのだから、財源としては違う。同じ枠に納めてしまって、年々縮小してきた。もうちょっと考えてもらわないと困る。
- 事務局 財産区のこれまでの成り立ちについては理解しております。予算のあり方については、従前からご意見をいただいておりますので、委員さんのつながり、財産管理のあり方がある中で、市がむやみに節約しているということではありません。予算の組み替えについては事務局で検討できる点もあるかと思っておりますが、大きく踏み込んでいないという現状ですので、例年この時期に予算をご審議いただく中で、事前に見ていただいていたことが、事務局の進め方も悪かったと思います。予算については市としても枠配分の中で調整する実態でございます。直ちにこうしますとは申し上げにくい。
- 中村副委員長 出来るのではないですか。補助受けているところじゃない。自前ですよ。
- 助野委員 消防庁舎の際は、平身低頭して9億円出してくれということだった。建ってしまったら、知らんでは困る。
- 中村副委員長 予算を組む前に委員会に出してください。以前はそうなっていました。芦屋市は担税能力があるから何もしなければ残る。行革だということで本体が予算を使わないのはよろしい。それとは違う。財産区は世話になってないし、むしろ自らが貢献しているのだから関係ない。

山村太良委員 前年度の支出がどうであったか、決算状況が資料で分かるようになれば良いのでは、参考にしていただければ。

事務局 予算については議会日程もありますので、内部で協議させていただきます。

松本部長

細谷委員長 その他、事務局からありますか。

事務局 芦屋市史が発刊されました。教育委員会から2冊いただいております。事務局
中山課長 に1冊、委員長に1冊お預けしておりますので、ご入用の場合はお知らせ下さい

細谷委員長 予定していた審議事項につきましては、以上でございます。

これもちまして、本日の委員会は終了いたします。

お疲れ様でした。ありがとうございます。

閉会

平成23年1月19日

委員長

署名委員

署名委員